

2013年度受託研究概要報告

播州織ファッション特区事業

研究メンバー

野口正孝 デザイン学部ファッションデザイン学科教授

委託者

西脇商工会議所

研究概要

播州織新商品開発事業並びに播州織工房館における運営および総合プロデュース

研究成果

* 西脇商工会議所、播州織産元協同組合、本学との産官学連携ブランド「n+able」の商品として西脇市出身のアーティストであるトータス松本氏とのコラボレーションで作ったオックスフォード帆布「harima'o」

を用いた帽子を制作した。この帽子は量産され、トータス松本氏のサマーフェスティバルの会場やホームページで販売された。また、新しいコラボレート商品の提案として同生地を使ったジーンズとGジャンを試作した。

* 播州織をキーワードにしたコミュニティーの場になることを目的として本学が連携して作った播州織工房館で、工房館スタッフとともに「七夕ゆかた祭り」を企画し、開催した。西脇市長、西脇商工会議所会頭等に出演していただき、西脇高校生活情報科の生徒と共にファッションショーを開催した。また本学独自の企画としてに播州織を用いた手作りTシャツを作るワークショップを実施した。

* 播州織の活性化を目的として「へその西脇・織物まつり」に参加し、播州織を用いた手作りTシャツを作るワークショップを実施した。

